

加古川市立志方東小学校 創立 150 周年



スクールガイド

2026 (学び舎の軌跡)

〈150 周年テーマ〉

うるわしの我が郷土 志方東 150 周年 手をつなぎ 未来へ歩もう

150 周年記念式典 令和8年 11 月 28 日(土)開催

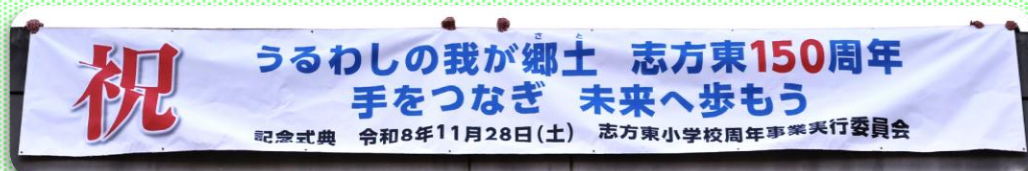
記念コンサート:ボーカルピアノ 森本千鶴さん
(ヤエモリ) 本校出身



50 年前の 100 周年からの足跡をたどっていきます。近い将来には、学校規模適正化による発展的展望での統廃合、そして義務教育学校へと向かう我が母校。この 150 周年を節目に、地域と学校が一体となって 150 周年記念事業を創りあげていきたいと願っております。

みんなでよりよいものを考えていきましょう。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

創立 150 周年記念事業 実行委員長 藤城 勝彦 (志方東地区連合町内会長)



令和8年5月 23日(土) 150周年記念運動会

人文字による 上空ドローン記念撮影あり



令和7年度の本校教育活動の「まとめ」として、この冊子を発行させていただきました。今年度は、いよいよはじまる次年度の「大きな2つの出来事」を意識した取り組みを進めました。1つは上記にある『創立 150 周年記念事業』、もう1つは『複式学級スタートに向けて』です。

150 周年事業は地域主体の実行委員会のもと、着々と準備が進められています。学校運営委員さんが中心となり、強力な地域組織をつくられました。皆さんの思い溢れる事業が展開されており、頼もしいかぎりです。事業を通して皆さんとともに素晴らしい足跡を刻んでいきたいと思っています。

また、児童数減少により次年度から加古川市初の複式学級になります。それを見据えて今年度は「異学年合同授業」と「教科担任制」をとり入れました。実践を通してどちらも予想以上の手応えを感じております。その一端をこの冊子で紹介させていただきます。合言葉は『少人数を活かす教育』です。

これからも今の環境下において、最大限の教育活動を展開していくことに努めていきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

加古川市立志方東小学校 校長 藤本 豊記

知

少人数を活かす授業の創造

- ① 1人1台端末の積極的活用
- ② ICT活用を通して「協同的な学び」と「個別最適な学び」の推進
- ③ 複式学級を視野に、少人数集団における効果的な授業づくりと指導者チーム体制の構築

徳

心の教育の充実

- ① 豊かな人間関係づくりと体験活動（異学年交流・ユニット・体験・福祉）
- ② いじめ防止の取り組みの充実
- ③ 個に応じた適切な支援・指導ができる特別支援教育の推進
- ④ 道徳教育の充実と推進

端末使用のスタンダード化を継続

- ・日々の持ち帰り、課題提出、文房具化活用率市内突出状況を維持

1人1台端末を活用した効果的授業実践の追究

- ・協同的探究学習をさらに発展させ、ICTとの融合を目指す「加古川型スマート探究学習」の追究
- ・教員のICT活用研修の実施・海外リモート交流の実施
- ・教育DX「デジタルトランスフォーメーション」の推進

複式学級を視野にカリキュラム、指導方法・

指導体制（チーム体制）の構築に向けた研修と実践

- ・全職員がかかわって検証・研修する
異学年合同授業・教科担任制・先行校視察（篠山・三木）
- ・研究成果をリーフレットで配布



少人数で課題となる人間関係づくり

- ・異学年交流やユニット交流を積極的に推進
- ・複式学級を視野に異学年授業の充実
- ・志方西小との授業交流の推進

危機感をもって取り組む生徒指導

- ・いじめの未然防止、早期発見、早期対応
- ・児童・保護者との「信頼関係」構築
- ・組織対応の体制強化・居場所のある学級経営

特別支援教育の一層の充実を図る

- ・1人ひとりの教育的ニーズに応じた教育の充実
- ・支援を必要とする児童への理解に向けた啓発

道徳授業を中心に、心に響く指導に努める

- ・道徳だより「コンパス」の発行
- ・「心を込めて精一杯」精神のもと感謝・優しさの体得



体

健康と安全・強い心

- ① 体力・意欲の向上
- ② 強い心の育成「目標」「協力」「役割を果たす」
- ③ 保健指導と安全・防災

地域

地域の光となる学校

- ① 地域とともにある学校づくり
ふるさと体験学習の充実
- ② 学校運営委員の参画
- ③ ユニットによる校種間連携
学校間授業交流の推進
- ④ 情報発信

体育学習・体育的行事の充実と推進

- ・運動会、マラソン大会、プール指導の充実
- ・「目標」を目指し集団で伸びる力、粘り強く取り組む力の育成
- ・力を合やす体験・学習の積み上げ

自覚を育み達成感が味わえる特別活動の推進

- ・「立場が人を育てる」のもと、役割を担い、果たすことで自信とたくましい心を育む

- ・少人数だからこそ、一人ひとりにスポットが当たる機会を

規範意識・生活習慣の定着（保健・生徒指導・安全）

- ・親子で学ぶネットトラブル防止講座
- ・交通安全教室、避難訓練をはじめ、防災教育の充実



地域の教育力を活用したふるさと学習の充実

- ・環境体験学習・150周年に向けた地域や学校の歴史学習

学校運営協議会との連携・協働の強化

- ・地域の特色を生かした学校運営を充実
- ・運営委員の学校運営への主体的参画（環境美化・周年事業）

ユニット交流の積極的推進

- ・直接ふれあえる学年間交流の実施（学校規模適正化の流れを踏まえて）
- ・西小との定期的な授業交流を通しての集団保障に努める

学校情報を保護者・地域に発信

- ・学校だより・道徳だよりの発行・スクリーン発信
- ・ホームページ更新（毎日）



学年をこえた集団の学び

交流給食

学校図書館教育



ぽかぽかルームをつかって2学期から交流給食がスタートしました。毎日いろんな学年の組み合わせ（曜日で固定）で食べました。2つ～3つの学年が混ざり合っており、そこではお話が弾み、笑顔で過ごしている子どもたちが目立ちました。学習とちがって発達段階は関係ありません。楽しく食べられているので、食も進むようです。お互いにのびのびと給食を楽しんでおり、おかげで残菜が少なくなりました。大勢で食べられるのはやっぱりいいですね。



今年度の図書館教育は、

「子どもたちが本に親しむ機会を増やす」ことをモットーに様々な取り組みをしてきました。

① 読み聞かせ運動の実施

月に1回、教職員が各学年を回って本の読み聞かせを行いました。学期に1度、図書ボランティアさんが昼休みに読み聞かせをしてくださりました。また2学期には、図書放送委員会の児童が低学年に読み聞かせを行いました。

② ブックトークの実施

国語科の教材や図書の活動を通してブックトークを行い、様々な本を知る、触れる機会を実施しました。



児童会活動

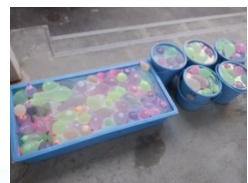
ふれあいタイム

1年生から6年生の縦割りグループで活動を行います。全校児童からアンケートをとって「水遊びイベント」を行ったり、児童会・6年生主催で2グループ合同の遊びをしたりと方法を工夫して活動しました。

ひがしっ子チャレンジ

「みんなで協力し みんなで楽しめる ひがしっ子チャレンジにしよう！」をスローガンに、各クラスで出し物の計画・準備をしてお店屋さんを開きました。

今年度は、ゆき保育園の年長児さんと地域の方々を招待しました。「おもてなし実行委員会」には全校児童の約半数が立候補し、園児が安心して楽しめるよう、一人ひとりが思いやりを持って接する姿が見られました。



少人数を活かす授業の創造

1・2年

生活科「おもちゃランド」

生活科「ようこそ！おもちゃランド」

「ようこそ！おもちゃランド」は、身の回りで使っている色々な材料を使っておもちゃを作り、友だちと協力し、2年生がお店役として1年生としかたこども園の子どもたちを迎え入れました。

2年生は、それぞれのおもちゃグループを作り、ルール説明やデモンストレーションをして盛り上げていました。

1年生は、お兄さんお姉さんになって、こども園の子どもたちにやさしく教えたり、一緒に遊んだりする姿が見られました。



3・4年

道徳科

「いっしょになって、わらっちゃだめだ」

道徳の時間は、3・4年生合同で学びました。3年生2名、4年生12名で共に学ぶことで、各学年だけではできない、多様な意見を出し合う道徳授業ができています。

人権参観では、「いっしょになって、わらっちゃだめだ」という教材で、正しいと思ったことを、自信を持って行おうとすることの良さを学びました。3年生、4年生のおうちの方とも交流の機会を設け、自分はどのようにして、正しい行動をとればよいかについて、しっかりと向き合っていました。



3・4年

総合的な学習の時間

「福祉教育」

総合的な学習の時間を活用し、3・4年生合同で福祉について学びました。1学期に社会福祉協議会の方に来ていただき、福祉とはどのようなものなのかを教えていただきました。2学期からは、実際に調べ学習、体験をしたり、ゲストティーチャーの方のお話を聞いたりして、聴覚障がい者、視覚障がい者、高齢者、肢体不自由者の方の気持ちを知ったり、児童にとって自分には何ができるのかを考えたりする良い機会になりました。

回数を重ねるにつれ、福祉に関する課題を自分事としてとらえ、自分にできる行動を考え実践しようとする力が身についていきました。



教科担任色を強めた取り組み

3～6年

社会科

「教科担任制と ICT 活用を組み合わせた授業」

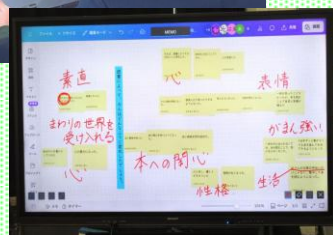
社会科では、3年生から6年生までの教科担任制を生かし、学年間のつながりを意識した授業改善に取り組んできました。その一環として、Google スライドを活用した学習を通して、児童が資料や写真、グラフを整理・比較しながら自分の考えをまとめる姿が多く見られるようになりました。主体的に学習に取り組む態度の育成にもつながっています。また、教科担任が児童の学びの積み重ねを把握できるため、前学年の学習を踏まえた指導や個に応じた助言が行いやすくなりました。



6年

国語科 「ぼくのブック・ウーマン」

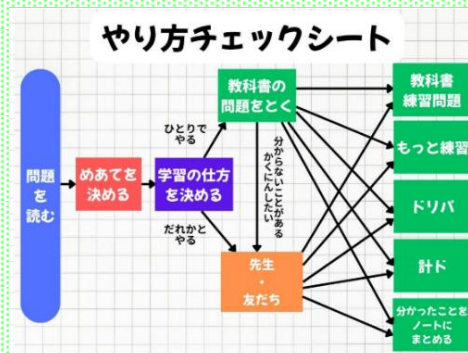
国語科「ぼくのブック・ウーマン」の学習では、PC を用いた意見交流を行い、主人公やブック・ウーマンの思いについて考えをまとめました。他者の意見を取り入れることで、多角的な視点を養い、思考を深めることができました。授業の終わりには、「読書は知識を得るだけでなく、想像力を育て、心を豊かに耕してくれるもの、そして自分の生き方にもつながっていくものだ」ということに、子どもたち自身が気づくことができました。自分たちの力でその大切さを見つけ出した姿に、とても頼もしさを感じました。



3年

算数科 「一万をこえる数」

算数科「一万をこえる数」の学習では、「学びに向かう力」を培うために、自由進度学習を取り入れて学習を進めました。授業開始時にみんなで学習問題を確認し、課題を見つけます。そのあとは、クラスルームで共有しているチェックシートをもとに自分で学習方法を決め、45分の授業内に課題を解決できるようにしていきます。授業の最後には、小テストを行い、自分の選択した学習方法で力をつけることができたかを確認します。教科書を読んですすめたり、友だちや教師と確認しながらすすめたり、どのような方法が自分に合うのか、「学び方を学ぶ」きっかけとなりました。



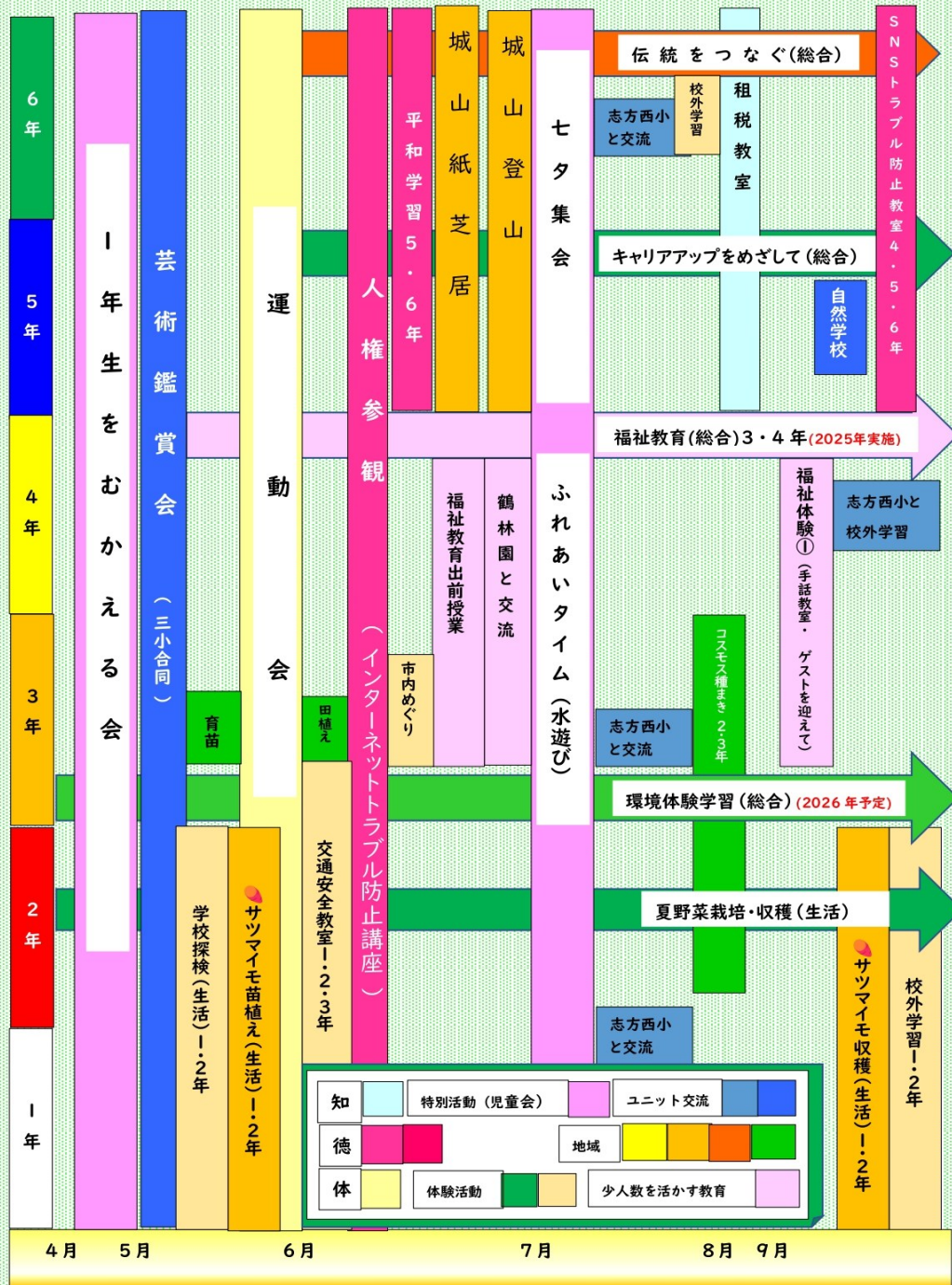
3～6年

外国語科 「日本の魅力を伝えよう」

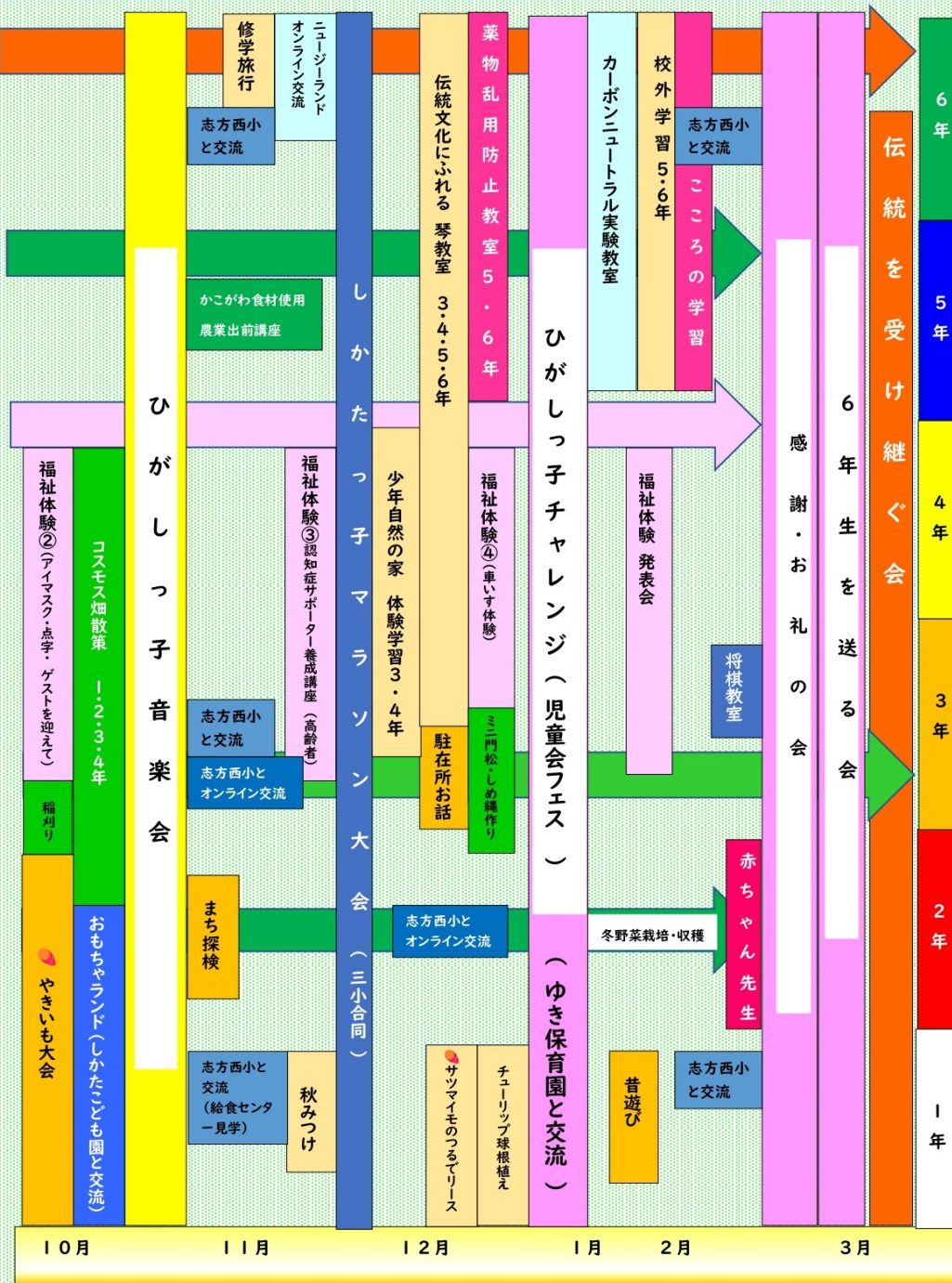
6年生では、2学期に自分の行きたい国の魅力を伝えるために、発表を行いました。そこで、今度はニュージーランドの子どもたちに日本の魅力を知ってもらうという目的でオンライン国際交流を実施しました。子どもたちはどうすれば日本の魅力を伝えられるのか試行錯誤をしながら準備を重ね、当日プレゼンテーションを行いました。この交流を通して異文化への理解が深まり、日本の魅力を英語で発信できたことが、児童の自信につながりました。



「地域の光」となる特色あるカリキュラム



学年をこえた集団の学び(異学年で交流) 常時活動: 交流給食 学校図書館教育: 読み聞かせやブックトーク
児童会活動: 「心の絆」集会・ふれあいタイム(水遊びイベント・宝探し・サッカー・クイズ大会) ひがしっ子チャレンジ



志方ユニットでの取り組み

ユニット行事・交流・学校運営協議会

ユニット行事・全体交流

花いっぱい活動



三小合同マラソン大会



自然学校 5年



トライやる・精一杯活動



他にも：「三小合同芸術鑑賞会」「オープンジュニアハイスクール」「名人と将棋」等々

授業交流から

昨年度より、人数の少ない学年を中心に学期ごとに志方西小との授業交流に取り組んでいます。両荘みらい学園のスクールバスを活用して学期ごとに本校から西小へ出向いています。3年生の国語の授業では、事前・事後にもリモートで共に学習をしました。本校では難しいグループ学習が本格的にできました。本校の集団では十分に保障できないところを補うことができる交流活動となっています。



1年生
交流で一緒に給食センターを見学



こども園・保育園との交流

3ページ「児童会活動」でゆき保育園児との交流の様子、4ページ「生活科（1・2年）」でしかたこども園児との様子を紹介しています。どちらも本校児童にとっても実り多い取り組みです。



学校運営協議会

学期ごと、志方6校園の管理職と各校学校運営委員で会合をもっており、各校園の取り組み状況、課題等を出し合いながらユニットでの情報共有をはかっています。



令和7年度の本校の教育活動を振り返りますと、次年度の「二つの大きな節目」を見据えた、まさに未来への大きな一歩を踏み出した一年でした。

一つ目は、『創立150周年記念事業』の準備です。地域主体の実行委員会の皆様の多大なるご尽力により、学校と保護者、地域が一体となって歴史的節目を祝って、子どもたちが郷土への誇りを感じる貴重な機会としていきます。

二つ目は、『複式学級スタートに向けた』環境整備です。児童数減少を前向きに捉え、今年度導入した「異学年合同授業」や「教科担任制」では、教科の特色を生かし、系統的に「個別最適な学び」と「協働的な学び」を意識して取り組んできました。今後も『少人数を活かす教育』を合言葉に、「自分事」として捉えた主体的な取り組み。ICT活用と、地域に根ざしたリアルな体験を融合させ、小規模校ならではの強みをより活かした柔軟な学びを展開していきます。

保護者・地域の皆様のご支援に感謝し、150周年という節目に向け、教職員一同邁進してまいります。

今後ともお力添えをお願いいたします。

加古川市立志方東小学校 教頭 畠山 真由美